



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度R Iテーマ

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
 副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
 会 計：荒 武 義 博
 事 務 局：〒880-0303 宮崎県佐土原町東上那珂 10255
 TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788
 携帯：090-2078-0483 斉藤美喜代
 例 会 日：毎週水曜日
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

第 891 回 平成 17 年 7 月 28 日（水）

● 本日のプログラム

● 3クラブ合同例会
 海洋高校実習船進洋丸体験航海

第 890 回の記録

★ 会長の時間

「ステンマーR・I 会長」

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、新しいロータリーの年、私たちのロータリー史上、第2世紀の最初の年へようこそ。今こそ、ロータリーの新しい歴史書の第1章を書き始めるときです。そして私たちは「超我の奉仕」を通じてそれを行おうではありませんか。

2005-06年度、主な2つの強調事項は、識字率向上と水保全・健康・飢餓追放です。加えて、公共イメージ向上に焦点を合わせています。それぞれの分野の専門知識をもったロータリアンたちによって構成された支援グループは、各クラブや地区のプロジェクト立案を支援するための準備を整えています。

読む能力は欠くことのできない要素

7月は、識字率向上月間です。スウェーデン・バスタドロータリークラブ会員で、子どもと、成人双方への読書教授法の調査研究と方法論の分野での国

際的な権威、イブ・マルムキスト氏は、1985年に、次のように記しています。

「読む能力は人々が生きていくために欠かすことのできない要素です。読み書きを学ぶ機会を与えられなかった人は、個人的にも社会生活においても、一人前の人間として過ごすことはできません。どうしてでしょう？ それは言葉が考えるための道具だからです。人は何かを考えるために単語を使います。意思を表すための単語とそれらをどのように組み合わせるかを学ばば学ぶほど、その人の考え方はより高度なものになります。言葉を理解し、習得することは教育の基礎です。だからこそ生きていく上で欠かすことができない要素なのです」

この記述はまさにその通りであり、そして、私たちが「超我の奉仕」を通してこの問題と取り組めるということはいかに幸せなことでありましょうか。識字率向上は、ニーズの多い巨大な分野なのです。

★ 幹事報告

柳田光寛 君

1. 例会変更通知

当クラブ 7月27日は、中央クラブ・東クラブとの合同例会の為変更

7月28日 場所 海洋高校実習船
進洋丸体験航海

他クラブ 宮崎西ロータリークラブ

7月29日 18:30～

ホテルメリージュにて（旧三役慰労会）

2. 都城ロータリークラブより、50周年記念誌が届いています、廻しますので御覧下さい。

3. 8月3日は、ガバナー補佐の例会訪問日となります。



米山奨学生紹介

山脇 忍 君

今回米山奨学生として、我が佐土原クラブが今年度と来年度の2年間お世話することになりました。タイ国籍のグニマラ・デグイ・イレングバムさんです。

彼女は現在宮崎大学に在籍されていて、主に魚介類の勉強をされているそうです。

毎月一度は例会に出席されます。

また、各地区のお祭りや、催し物にも誘って頂き少しでも多くの交流をして頂きたいと思います。



佐土原祭りオープニング

H17・7・23

鏡割り風景

戸敷佐土原町長・横田県議・岩切正司RC会長・岩切徳夫大会委員長・藤堂RC前幹事

☆☆☆☆☆ 今月のセレモニー ☆☆☆☆☆

会員誕生

水浦達博 君



結婚記念

岩切徳夫 君
林 厚雄 君



出席状況 第890回 平成17年7月20日

会 員 数 27 名

出席者数 20 名

出 席 率 74 %

欠 席 者 数 7 名

メイクアップ 2 名

修正出席率 81.5%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか